

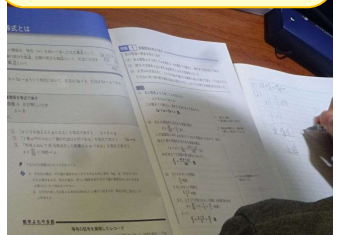
やる気発生装置

「勉強のやり方」の基本を固めよう！

当塾、いまは1年の中では、かなりすいている時期ですが、それだけに教室に来る人たちは気合が入っています。定期テストや入試本番にはまだ日があって、目の前のことに追われなくてもいい時期という人が多い今こそ、基本となる「勉強のやり方」を確認しておいてほしいなと思います。自分がしていることが、本当に得点力をつけるための『勉強』になっているかの判定ポイントがあります。それは「できなかった問題ができるようになる作業」をしているか、ということです。いくつか、例をあげてみます。



鴨川沿いでは、納涼床の設営工事が始まっていました。早くも、という感じですが、ここ数日の気温上昇からすると、すでに夏に近い実感も否めません。



この時期に教室に来る人達はやはり気合が入っていて、これがやりたい！というものが明確な人が多いです。手応えのある学習にするべく、しっかりフォームを整えよう。

例①「**すらすら解ける簡単な問題をひたすらノートに書き続けてマルをつけていく。**」→すごく気持ちのいい作業ですが、「できなかった問題」に取り組んでいないから、『勉強』ではありません。

例②「**難しい数学の問題を前にして、何時間も悩んでいる。**」→決してムダではないのですが、「できるように」になっていなければ、ここでいう『勉強』にはなっていません。

例③「**教科書の内容を、ノートにまとめていく。**」→いかにも勉強してるっぽく見えますが、まとめた内容が頭に入っていないと、できるようにはならないので、『勉強』とはいえません。

例④「**できなかった問題の答えを見て覚え、その答えを何も見ずに書けるかどうか確かめる。**」→できなかった問題の答えが書けるようになっていなければその分得点になります。これが『勉強』です。

「①②③のようなムダな『勉強っぽい作業』をやめて、本当の勉強をしよう！」という先生もいますが、僕は必ずしもそうとは考えません。できなかった問題を発見するためには①の作業は必要ですし、②や③の作業をしている間に、見えていなかったものに気づくこともあります。そういうことも広い意味では立派な勉強であり大切です。でも、点数を上げたい、合格に近づきたいというなら、そのための方向を見失わないようにする必要があります。進め方自体は、いろいろな方法があって、最適なものは人によって違います。自分は『勉強』をしているのかどうか、それを意識しつつ試行錯誤してもらえたらと思います。

当面の教室予定

4/17(水)～4/19(金)

16:00～22:00

4/20(土)

16:00～21:00

4/21(日)

お休みですm(_ _)m

4/22(月)～4/26(金)

16:00～22:00

※21時以降、教室に生徒が残っていない場合には閉室させていただきます。

※天候や各種感染症の状況等により、変更させて頂く場合があります。